

郑敦仁◎著

简明实用中兽医手册



广东人民出版社

ISBN 7-218-04983-4



9 787218 049830 >

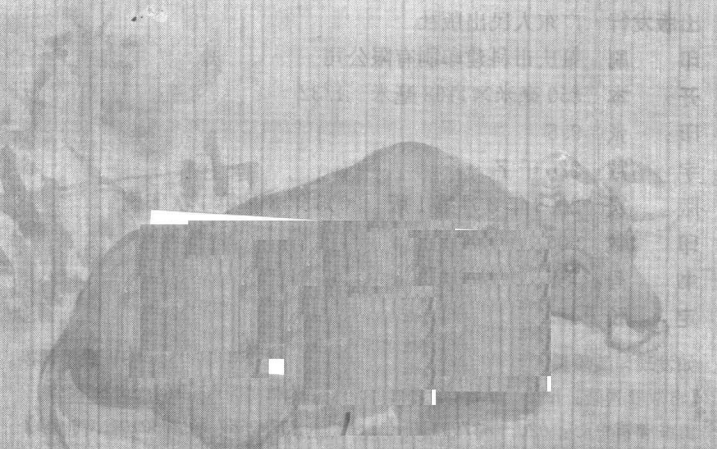
ISBN7-218-04983-4/S. 23

定价：18.00元

郑敦仁◎著



简明实用中兽医手册



广东人民出版社

图书在版编目 (CIP) 数据

简明实用中兽医手册 / 郑敦仁著. — 广州: 广东人民出版社, 2005. 8

ISBN 7-218-04983-4

I. 简… II. 郑… III. 中兽医—手册
IV. S853-62

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2005) 第 075960 号

责任编辑	肖风华
封面设计	崔思明
责任技编	黎碧霞
出版发行	广东人民出版社
印 刷	肇庆市科建印刷有限公司
开 本	850 毫米×1168 毫米 1/32
印 张	9.5
字 数	226 千字
版 次	2005 年 8 月第 1 版 2005 年 8 月第 1 次印刷
印 数	5000 册
书 号	ISBN 7-218-04983-4/S·23
定 价	18.00 元

如发现印装质量问题, 影响阅读, 请与出版社 (020-83795749) 联系调换。

【出版社网址: <http://www.gdpph.com> 电子邮箱: sales@gdpph.com

图书营销中心: 020-83799710 (直销) 83790667 83780104 (分销)】

前 言

本书介绍用草药治疗动物疾病的知识。中兽医学正统做法是以传统中药治疗动物疾病，由于中药较昂贵，而动物本身价值又较低，以昂贵之药治价值较低的动物显然不大可行。其次是学习使用传统中药，一般要以熟记一些古典处方做基础，这些枯燥背记处方的学习使得很多人无所适从，影响学习情绪和效果，是故，以草药治动物疾病应运而生。

我国基本上处于热带、亚热带地区，雨量丰沛，植物生长茂盛，草药资源十分丰富，如能充分利用这些草药资源为畜牧业生产服务确是物尽其用，又降低生产成本。

本书分为三部分。第一部分是介绍一些中兽医基础理论；第二部分是介绍使用中草药治疗动物疾病的知识，包括中草药基本知识、常用草药一百六十余种，疾病诊断（病因分析、四诊、证型分析）；治则的确立和相应的用药。整个过程相对简单，易懂易学，再加上对十余种常见疾病诊治练习就可学好。第三部分是中兽医民间验方评注，各验方来源于上世纪八十年代初广东省农科院兽医研究所的《中兽医疗牛集》（该书荣获一九八二年全国优秀科技图书二等奖）和海南行政区（尚未建省）的《诊疗牛病经验汇编》两书。本书摘录了以上两书中的验方524首，关系到病症近80种。每首处方均加以评注。评注内容：一、正名，由于处方出自各地，其中草药名十分混杂，本书一律改为常用名或正名（原书大部分注明），在括弧

中注明，例如“山茺”注为“山胡椒”，“假茺”即“假胡椒”；有些原注有误，例如“狗达竹”一物，原注为“芦苇”，而此物实为“芦竹”，等等。二、注明每种药的作用，有些还引证出处、民间习用等。三、建议对一些药用量的调整。四、处方中某些药的取舍，对药源稀有者提出替代的建议药等。五、有些处方为中医古典处方，指出该处方的名称及治疗作用。六、针灸处方者，指出其中穴位的取法、治疗作用、针灸法等。七、有些巧治法，指出其治病原理。

2

应该指出的是，虽然这些验方均是治疗牛病的处方，但基本上可用于治疗其他动物相应的病症，例如《腹泻》中所列各验方，均可选用于各种动物的腹泻，只是用量、用法要变通。

附录是介绍猪病的水针疗法（又称穴位注射），是一种中西医结合疗法。

目 录

前 言.....	(1)
----------	-----

第一部分 中兽医基础理论

第一章 阴阳浅说.....	(3)
---------------	-----

一、什么是阴阳.....	(3)
二、阴阳之间有什么关系.....	(4)
三、阴阳在中兽医方面有何应用.....	(6)

第二章 五 行.....	(9)
--------------	-----

一、什么是五行.....	(9)
二、五行的关系	(10)
三、五行在中兽医上有什么应用	(12)

第三章 脏 腑	(14)
---------------	------

第一节 五 脏	(15)
---------------	------

一、心	(15)
二、肝	(16)
三、脾	(18)
四、肺	(19)
五、肾	(21)

第二节 六 腑	(24)
一、胆	(24)
二、胃	(24)
三、小 肠	(25)
四、大 肠	(25)
五、膀 胱	(26)
六、三 焦	(26)

第四章 气血津液	(27)
一、气	(27)
二、血	(30)
三、津 液	(30)
四、气、血、津液之关系	(32)

第二部分 如何使用中草药

第一章 兽医中草药	(35)
第一节 掌握一些辨认中草药的知识	(35)
第二节 中草药知识	(45)
一、四 性	(45)
二、五 味	(46)
三、药物之间的作用及使用禁忌	(47)
四、中草药的使用	(49)
第三节 中草药之分类及应用	(53)
辛温解表药	(60)
辛凉解表药	(61)
清热解毒药	(62)
清热泻火药	(65)
泻下药	(66)

利湿药	(67)
化湿药	(69)
祛风湿药	(69)
消导药	(72)
理气消胀药	(73)
理血药	(74)
祛寒药	(76)
收敛药	(76)
补益药	(77)
止咳平喘祛痰药	(79)
驱虫药	(80)
外用药	(81)
第二章 诊 断	(83)
第一节 病因分析	(83)
第二节 四 诊	(86)
第三节 分析证型	(94)
一、八纲辨证	(94)
二、脏腑辨证	(100)
第三章 治疗 (药物疗法)	(101)
第一节 常用治则	(101)
第二节 辨证论治、确立治则举例	(103)
第四章 家畜常见病防治	(105)
一、腹 泻	(105)
二、腹 痛	(106)
三、积 食	(107)
四、臌 胀	(107)
五、粪结不通	(108)

六、感冒（附流感）	(109)
七、中 暑	(111)
八、扭伤、跌打	(112)
九、咳 嗽	(112)
十、热 淋	(113)
十一、痢 疮	(114)
十二、风湿痛	(114)
十三、习惯流产	(115)
十四、带 下	(115)

第三部分 民间验方评注

一、心经病	(119)
(一) 狂 症	(119)
(二) 脑黄（脑炎）	(120)
(三) 木舌症（舌托）	(122)
(四) 口舌疮	(124)
(五) 中 暑	(125)
二、肝经病	(127)
(一) 黄疸（肝炎）	(127)
(二) 胆痞（胆炎）	(128)
(三) 肝 风	(129)
(四) 外障眼（角膜炎）	(131)
(五) 风火眼（结膜炎）	(133)
三、脾经病	(134)
(一) 脾虚慢草	(134)
(二) 脱 肛	(135)
(三) 宿草不转（瘤胃积食）	(135)
(四) 瘤胃臌胀	(139)

(五) 吐草病 (“吐尿”病)		(142)
(六) 流涎 (多涎症)		(144)
(七) 百叶干 (瓣胃阻塞)		(146)
(八) 草噎 (食道梗阻)		(150)
(九) 食道炎		(150)
(十) 粪结不通		(151)
(十一) 粪 血		(153)
(十二) 腹 泻		(156)
(十三) 传染性胃肠炎		(163)
(十四) 腹 痛		(164)
(十五) 大肠血结		(167)
四、肺经病		(169)
(一) 感冒 (附: 流感)		(169)
(二) 咳 嗽		(174)
(三) 肺炎、异物性肺炎		(178)
(四) 喉头疮 (咽喉肿痛)		(179)
(五) 鼻衄 (流鼻血)		(181)
(六) 鼻炎 (鼻窦炎)		(182)
(七) 毛孔出血 (肌衄)		(183)
五、肾经病		(185)
(一) 肾痛 (肾盂炎)		(185)
(二) 血 尿		(187)
(三) 垂缕不收 (阴茎不收)		(190)
(四) 外肾黄 (睾丸炎)		(192)
(五) 癃闭 (尿不通)		(193)
(六) 尿白浊 (乳糜尿)		(195)
(七) 内耳疮 (耳道炎)		(196)

六、外科病	(197)
(一) 跌打、扭伤、叉胛	(197)
(二) 牛断脚筋	(201)
(三) 疮黄症	(202)
七、外科杂症	(219)
(一) 风团疹块 (荨麻疹)	(219)
(二) 赘 疣	(220)
(三) 疔 病	(221)
(四) 雪蹄 (冻疮)	(222)
(五) 风湿病	(223)
八、胎产病	(226)
(一) 胎动 (先兆流产)	(226)
(二) 难 产	(228)
(三) 胎衣不下	(230)
(四) 子宫脱出	(232)
(五) 死胎不下	(234)
(六) 产后风	(235)
(七) 产后血崩	(237)
(八) 产后缺乳	(239)
(九) 带 下	(241)
(十) 不孕症	(243)
九、传染病	(245)
(一) 破伤风	(245)
(二) 犊牛副伤寒	(248)
(三) 勾端螺旋体病	(249)
(四) 牛出血性败血症	(251)
(五) 气肿疽	(253)

十、寄生虫病	(255)
(一) 蝇蛆病	(255)
(二) 疥癣病	(258)
(三) 虱 害	(260)
(四) 球虫病	(262)
(五) 肝片吸虫病	(263)
(六) 蛔虫病	(264)
十一、中毒病	(266)
(一) 有机磷中毒	(266)
(二) 含氰化物植物中毒	(267)
(三) 烂番薯中毒	(271)
(四) 无刺含羞草中毒	(274)
(五) 蛇 伤	(275)
(六) 蜂螫伤	(278)
(七) 毒蜘蛛咬伤	(279)
附录：猪病的水针疗法（穴位注射）	
一、泄 泻	(284)
二、咳 喘	(285)
三、感 冒	(286)
四、僵 猪	(286)
五、脱 肛	(286)
六、风湿病	(287)

第一部分

中兽医基础理论

第一章 阴阳浅说

一、什么是阴阳

阴阳是古代人对自然界相互关联的某些事物或现象的属性的概括（非指具体事物），这些属性是相互对立又相互联系、相互依赖的。那些相互对立又相互关联的事物或现象如水火、寒热、光明和黑暗等等。因为是属性，非指具体事物，所以 9 月 9 日是抽象的，“阴阳者，有名而无形”（《灵枢》）。

“阴”、“阳”这两个名词在我们日常生活、学习中经常被使用到：

阴——阴影、阴凉、阴谋、阴天、隐私、阴司、太阴（月亮）、阴暗……共同特点是掩藏的、不明显、寒凉，底下、低下者都是属阴。

阳——向阳、太阳、阳光、阳间……共同特点是光明、温热，高处者总是属阳的。

此外，这两个词还有两个层面的词意：一是表示方位，地名洛阳（位于洛水之北），淮阴（淮河之南），衡阳（位于衡山之南）。概括起来，河流之北为阳，南面则为阴；山之南为阳，北面则为阴。二是表示性别：母性为阴，公性为阳。

在宇宙间，阴阳是普遍的。

根据以上论述，引申、归纳起来就是：

1. 从自然界来说，天为阳，地为阴；太阳为阳、月亮为阴；火属阳、水属阴；光明属阳、晦暗属阴；
2. 从时间来说，白天为阳、夜间属阴；
3. 从季节来说，夏属阳、冬属阴；
4. 从性别来说，公属阳、母属阴；
5. 从方位来说，上属阳、下属阴；南属阳、北属阴；外属阳、里属阴；
6. 从家畜躯体来说，体表属阳、里内属阴；背属阳、腹下属阴；腑为阳、脏属阴；
7. 从某些现象来说，动为阳、静属阴；
8. 从温度来说，热属阳，寒属阴；
9. 从颜色来说，红色属阳，青、黑色属阴。

由此说来，阴阳是广泛存在的、普遍的，阴阳包括万物，万物中有阴阳，“阴阳者……数之可千，推之可万”！

二、阴阳之间有什么关系？

（一）对立关系（斗争或制约关系）

热与寒、上与下、动与静、里与外，都是相反的。它们是互相制约的形成矛盾的对立面。动以制静，热以制寒，一般情况下，双方保持动态平衡。一旦平衡被打破，情况就产生变化（在机体是疾病的产生），例如阴盛（寒盛）、阳盛（热盛）均是机体不正常。

（二）互根关系（互相依存、互相依赖）

无上不所谓下、无热不所谓寒、无实不所谓虚，反之也同。任何一方都不能失去对方，双方均是以对方的存在为存在的条件，称“互根”。